

■ 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」

期間：2007年1月23日（火）～28日（日）

開催時間：10:00～18:00（最終日は16:00まで）

観覧料：無料

会場：ヨンデンプラザ高松1Fギャラリー

入場者：911名

主催：香川大学博物館

後援：香川県教育委員会、高松市教育委員会、NHK高松放送局、西日本放送、
KSB瀬戸内海放送、四国新聞社、山陽新聞社、高松リビング新聞社、
FM香川、FM高松コミュニティ放送、高松市丸亀町商店街振興組合

展示：

- ・ごあいさつ（香川大学博物館長）
- ・香川大学の沿革
- ・地球最古の生命はどこにいたか
- ・農学部遺跡出土の石器・土器（弥生、古墳時代）
- ・農学部遺跡あしあと剥ぎ取りシート（奈良時代）
- ・平賀源内デジタルアーカイブ
- ・教育課程文庫
- ・昔の農機具
- ・切開用手術器具一式
- ・香川の里山の昆虫標本
- ・オキゴンドウの骨格標本
- ・希少糖
- ・ワイン「ソヴァージュヌ・サヴルーズ」
- ・酒米新品種「さぬきよいまい」（KU-16）の特性
- ・窓ふきロボット
- ・香川発超小型人工衛星



↑クリックすると拡大します

この特別展は香川大学博物館の開設記念として開催されました。これまでオープンキャンパスなど、個々の学部での定期的な取り組みはあったものの、大学全体としては初の試みでした。大学の過去、現在、未来が貴重な標本資料や発見、発明品を通して紹介されました。



展示会場全貌



超小型衛星など



あしあと剥ぎ取り標本



さぬきよいまい



昔の農機具



法学部